

ディベート「反論ゲーム」の進め方（実践の記録から）

教育エジソン

※ここには授業の流れのみまとめてあります。詳細は「解説」参照。授業ワークシート別紙。

論題 **AIが発達すれば、英語など知識を蓄える勉強はしなくてもよい** 賛成か、反対か

1日目 第1時

1、陣営分け くじ引きで、賛成側・反対側に
分かれる。（今回は賛成5 反対6）

A 賛成

B 反対

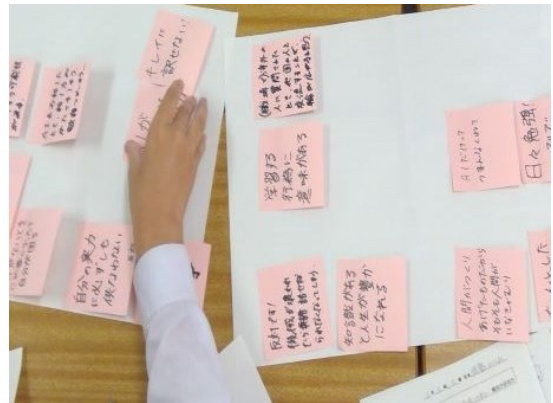
2、主張・反論・再反論をつくる

①理由を出し合う（付箋式ブレインストーミング）

賛成派はブルー、反対派はピンクの付箋を使う。

思いついた理由を付箋にサインペンで大きく書き、言いながら中央の大判の白紙貼っていく。

新たな付箋は縦方向に貼り、似た付箋は横に並べる形で整理する。



②主張シートを書く

各自、使いたい付箋（理由）を申し出て、理由を
分担する。自分が出した理由でなくてもよい。

担当した付箋を手元において主張シートを書く。

具体的根拠などは自分で考えて書くが、みんなに
投げかけてアイデアをもらうのもよい。



③相手の主張に反論付箋をつける

黒板にそれぞれの主張シートを張りだす。

陣営の場所を交代して相手側の主張を読み、その理由への反論を付箋に書いて貼る。

イチャモンをつけるノリでワイワイと話しあいながら、どんどん貼る。



2、主張・反論・再反論をつくる(つづき)

④反論シートを書く

自分たちが反論付箋をつけた相手側の主張シートを持ち帰る。

みんなで読みながらシートを1枚ずつ分担する。
反論付箋を見て「反論シート」を書く。



⑤主張シート、反論シートを張りだす

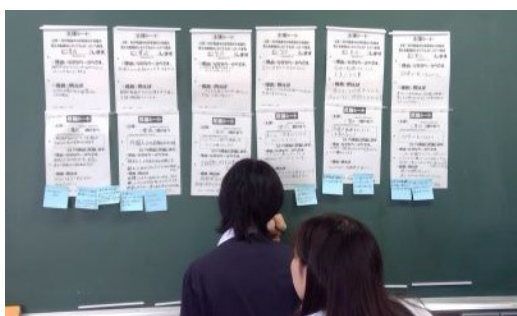
相手側の主張シートを黒板に戻し、その下に反論シートを貼る。



⑥反論シートにさらに反論の付箋をつける

自分たちの主張につけられた反論シートを読む。

相手の反論シートに仲間同士でイチャモンをつけながら、反論付箋をつけていく。



⑦再反論シートを書く

自分たちが反論付箋をつけた、相手側の反論シートを持ち帰る。

分担して「再反論シート」を書く。

これで両陣営の「主張・反論・再反論」シート×人数分が出そう。



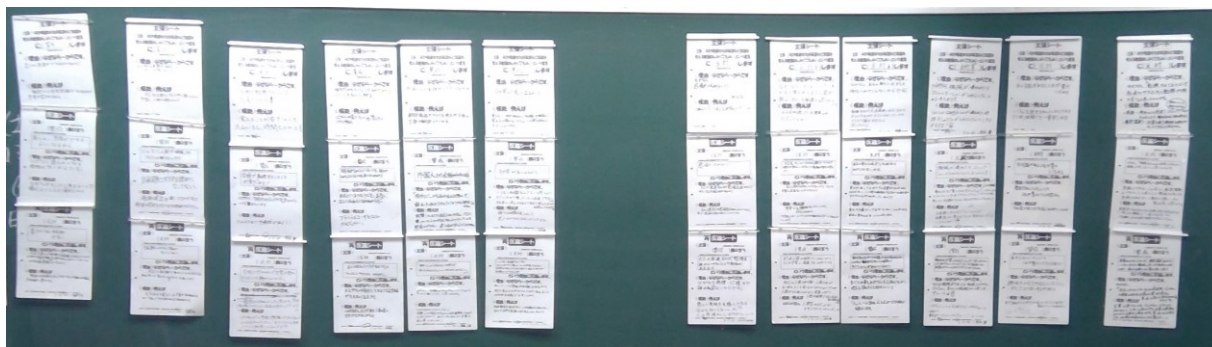
<p style="text-align: center;">主張シート</p> <p>〈主張〉AIが発達すれば英語など知識を覚える船強はしなくてもよい」という意見に()します</p> <p style="text-align: center;"><small>↑賛成か反対か記入する</small></p> <p>〈理由〉なぜなら～からです。</p> <p>〈根拠〉例えば</p>	<p style="text-align: center;">反論シート</p> <p>〈主張〉()側の言う</p> <p style="text-align: center;"><small>↑賛成か反対(相手側)を入れる</small></p> <p>↑反論したい相手の理由部分のポイントを抜き出す</p> <p>という理由に反論します。</p> <p>〈理由〉なぜなら～からです。</p> <p>〈根拠〉例えば</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※「再反論シート」は、「反論シート」のタイトルの前に「再」と書いて使用。

3、試合

①シートの掲示

勝てそうな主張をあとにして、順に並べる。→後半で勝てるように各陣営、主張・反論・再反論シートを縦にセットして黒板に貼る。縦に並んだ3枚が1試合である。試合を行う順に、中央から外側にむけて並べる。



【賛成側】

【反対側】

②試合(主張・反論・再反論)

- ①主張、反論、再反論の順で、それを書いた生徒が前に出て、シートを読み上げる形でプレゼンする。
- ②そのまま読み上げでなく、多少アレンジしてもよいが、新たな理由や根拠などは出さない(反論・再反論と齟齬が生じるため)。再反論は最後なので、ある程度ふくらませてもよい。



③ジャッジ、勝ち点記録

- ①主張、反論、再反論の三人のプレゼンが済んだら、教師がすぐにジャッジする。
- ②教師は賛成・反対どちらの勝ちかをまず言い、理由を述べる。
- ③星取表に勝ちを記録していく。

④全体の勝敗判定

以上をくり返し、最終的に勝ち星の多い側を勝者とする。教師が講評をする。

4、ふりかえり

各自、論題に対する現在の自分の考えを、ふり返りシートに書く。

小論文課題『今後、AIの発達に伴って起きてくる問題を取り上げ、論じなさい』にむけた準備。